

## 第 1 回モビリティサポートモデル事業有識者委員会の概要

### 1. 開催日時等

日 時： 平成 21 年 5 月 21 日（木）10：00～12：00  
 場 所： 中央合同庁舎 3 号館 4 階 特別会議室  
 出席者： 岡部 篤行 青山学院大学総合文化政策学部 教授  
 越塚 登 東京大学大学院情報学環 准教授  
 竹中 ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長  
 寺部 慎太郎 東京理科大学理工学部 准教授  
 古屋 秀樹 東洋大学国際地域学部 教授  
 保井 美樹 法政大学現代福祉学部 准教授  
 NPO 法人地域経営支援ネットワーク 理事  
 （事務局）国土交通省 政策統括官付参事官付

### 2. 委員会における意見等

提案のあった 7 つの取組は、全てモデル事業として適切であると認められた。  
 ただし、より効果的にモデル事業を実施するために以下の意見を付すこととした。

協議会等の名称	有識者委員会からの主な意見
（仮称）いすみ市モビリティサポート事業推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のモビリティにも重点を置いた取組として、他の地域の先駆けとなることが期待される。</li> <li>・高齢者が QR コードや携帯電話などのインターフェースを使いこなせるようにする工夫が求められる。</li> </ul>
「東京ユビキタス計画・銀座」実施協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 18 年度から取組んできた実績を踏まえ、官民協同運用体制の構築を目指して確実な取組が期待される。</li> <li>・ただし、協議会が実施する全体事業の中で、特に国が支援して重点的に実施する事項を精査することが必要である。</li> <li>・官民共同の運用体制構築には民間との連携が重要であり、参加を促すためのインセンティブを提示することが求められる。</li> </ul>
すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に関連する他の取組との相乗効果が期待される。</li> <li>・場所情報コードなどのユビキタス技術利用の更なる活用が望まれる。</li> </ul>
K O B E カード協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に分かりやすいバス情報提供サービスを行うことは他の地域の参考となることが期待される。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし、本来バス事業者がやるべきことと、モデル事業で実施することを仕分けすることが必要である。</li> <li>・バス情報の提供のみならず、更に公共性を入れた取組とすることが求められる。</li> </ul>
(仮称)今井町ユビキタス計画協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区のような歴史的保存地区における観光客と住民との折り合いについては全国的課題であり、そのプロトタイプとして期待される。</li> <li>・事業を継続するための体制確保が求められる。</li> </ul>
(仮称)室戸ジオパークモビリティサポート検討協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・G G N加盟を目指す地域や国立公園、国定公園区域に成果が活用されることが期待される。</li> <li>・観光客等の利用者に分かりやすい情報提供となるようコンテンツの充実が求められる。</li> <li>・事業を継続するための体制確保が求められる。</li> </ul>
天神・大名地域W i F i化推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「天神・大名おもてなしプロジェクト」の取組の一つとして実施されるものであり、他の取組との相乗効果が期待される。</li> <li>・総花的にならないよう場合によっては的を絞ってしっかりとした成果を出し、全国への発信が望まれる。</li> </ul>

(共通)

達成目標として、できる限り効果を数値で計測されることを望む。仮に目標が達成されなくとも、その原因を分析することが他の地域にも参考になることから、大変重要である。

以上